



中央教育審議会

初等中等教育分科会 個別最適な学びと協働的な学  
びの一体的な充実に向けた学校教育の在り方に関する  
特別部会

高等学校教育の在り方ワーキンググループ

共に学び

共に伸びる

令和6年6月20日

兵庫県立阪神昆陽高等学校  
兵庫県立阪神昆陽特別支援学校

# 阪神昆陽の紹介

## 交流及び共同学習の推進

阪神昆陽

校長

高校・  
特別支援  
兼任

同一敷地内に2校

副校長

施設の共有

特別支援学校

高等学校

教頭 高等学校…3人 特別支援…1人





阪神昆陽(高等学校、特別支援学校)の両校生徒が共に助け合って生きていくことを実践的に学ぶ機会を設定し、ふれあいを通じた豊かな人間性を育むとともに、**社会におけるノーマライゼーションの理念を進展するための礎**となる学校をめざす。

## 『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」を育むために

### 理念

2024

阪神昆陽(高校、特別支援学校)の両校生徒が共に助け合って生きていくことを実践的に学ぶ機会を設定し、ふれあいを通じた豊かな人間性を育むとともに、**社会におけるノーマライゼーションの理念を進展するための礎**となる学校をめざす。

#### ボランティア・国際交流

- ・常春藤高級中学(台湾)との姉妹校交流(相互交流)
- ・地域の清掃活動の実施
- ・校外ボランティアの充実

#### 地域連携

- ・池尻小学校やまちづくり協議会主催の催し等への参加
- ・伊丹市教委と連携した小学生や先生向けの理科実験講座
- ・学校設定科目(ノーマライゼーション、対人援助)での地域連携(高)
- ・地域ふれあい調理交流会の実施や地域保育所との交流(高)
- ・花いっぱいプランターの地域配布(高)
- ・学校周辺地域での、清掃、福祉実習、緑化活動、販売学習の実施(特)

### 県立阪神昆陽

「生徒に考えさせ 生徒が行動を選択し 生徒が責任を果たす学校」  
社会に必要なルールや学力、基礎的な習慣を身につけ、**自己肯定感**(自分は大切な存在だ)、**自己効力感**(自分はやればできる)を培い、**自己有用感**(自分は人の役に立つことができる)を高めて、グローバルな環境に適応し、社会に貢献できる**人材を育てる**

#### 総務・カイゼン・広報・連携

- ・教職員が働きがいを実感できる環境づくり
- ・安心安全な学校づくり
- ・職員室の整理整頓を含めた、快適な職場環境の整備
- ・カイゼンを通して業務の効率化を図り、生徒と向き合う時間を増やす
- ・学校情報の発信(出版物・HP・中学校訪問など)の充実
- ・防災意識の高揚(防災避難訓練・防災学習の充実)
- ・両校の連携と交流の活性化
- ・オープンハイスクール等学校説明会の内容の精選と充実(高)
- ・授業風景、行事の記録(高)
- ・定期的な校内美化活動の実施と美化意識の向上(高)
- ・オープンスクール等学校説明会の内容の精選と充実(特)

#### 1 2 部

- ・授業や学校行事を通して、自分が判断して行動できる自立心と、他者を尊重しながら学校生活を送る自律心を身につける(1年)
- ・自分自身の進路と向き合い、主体的に学ぶ姿勢と正しい倫理観を育む(2年)
- ・自分の進路を自分の意思で決め実現する(3年)
- ・自分が決めたことをやりきる力を身につけ、社会に貢献できる人をめざす(4年)

#### 3 部

- ・基本的な生活習慣の確立と基礎学力の定着を図り思いやりの心を育む(1年)
- ・興味・関心を広げ、自分の将来に向けて考え行動する力を育む(2年)
- ・自らの進路を自らの意志で決め、実現する(3年)
- ・将来を見据え、社会性を広げ、自分の長所を生かし、よりよく生きる力を身につける(4年)

#### 特 支

- ・「働く人になる」という明確な意思をもち、社会的・職業的自立を目指す生徒を育成する
- ・夢・希望・目標を掲げ、主体的に生活を営むことができる生徒を育成する
- ・自己理解及び他者理解を深め、適切な人間関係を築くことができる教育を実践する

#### 生徒指導

- ・社会のルールやマナーを遵守する態度の育成
- ・部活動の充実と活性化・定通大会への積極的な取り組み
- ・生徒会活動の活性化、生徒が自ら積極的に役割を果たす行事の実施
- ・学校内外の定期的な巡回指導及び常に緊張感のある危機管理
- ・いじめの芽を見逃さない安心安全な学校づくり
- ・薬物乱用防止及び情報モラルについての定期的な指導
- ・生徒心得を基準としつつ個に応じた指導
- ・ノーマライゼーションの理念を体現する学校行事の実施
- ・未来志向で語る生活体験発表大会の実施
- ・一歩踏み込んだ自殺予防教育(職員研修とHRの実施)(高)

#### 進路指導

- ・的確に生徒のニーズをつかんだ進路指導・進路面談の実施
- ・進路を取り巻く状況の変化に対応する進路指導の研究
- ・キャリア教育による進路情報の提供及び主体的に進路を考える意識の醸成
- ・年次進行による系統的・組織的な進路指導の構築(ガイダンス部との連携)(高)
- ・生徒の学力を底上げする補習と補習の組織的な運営(高)
- ・ミスマッチを防ぐための仕組み作り(高)
- ・大学・専門学校・企業の説明会の実施・外部学習の積極的な活用(高)
- ・学年に応じた職場体験を通して社会のルールやマナーの習得(特)
- ・個々の適性に応じた指導や就労支援の実施(特)

#### 支援保健・通級・ノーマ・レジリエンス

- ・学びへのアセスメントとアクセス支援
- ・カウンセラーによる授業見学も取り入れた、多角的教育相談体制の充実
- ・日常的な生徒のかかわり、声かけによる早期の気づき
- ・円滑で願の見える行政・医療・福祉との連携
- ・高校、特支、地域への情報発信と連携
- ・合同ノーマライゼーションの授業の充実
- ・カウンセリングマインドの視点を活かす指導
- ・いのちを大切にすることを育む行事の実施
- ・交流及び共同学習の集大成としてのノーマライゼーション発表大会の充実
- ・生徒指導と連携した自殺予防教育の推進(高)
- ・生徒の情報共有のためのデータベースの充実(高)
- ・通級と連携した階層的な校内支援の推進(高)
- ・レジリエンスを高める教材開発と実践(高)
- ・セルフアドバイザーの育成(高)
- ・交流の拠点としての校内居場所カフェの運営(高)
- ・個別的教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用、効果的なICTの活用、自立活動の研究と充実(特)
- ・心と体の学習による性教育の充実(特)
- ・スクールカウンセラーの活用と充実(特)

#### 研修・改革

- ・教職員の資質・能力の向上につながる研修の企画、運営
- ・「総合的な探究の時間」における自らが課題を解決していくための探究する力の育成(高)

#### 授業・教務・ガイダンス

- ・ICT機器、UDなどの社会の変化に対応した授業改善(公開授業・研究授業・授業参観・授業アンケート・職員研修)
- ・教育課程とキャリアアップに対応した時間割の構築
- ・交流及び共同学習の推進
- ・生徒のやる気と達成感が得られる学習評価や授業の研究
- ・校外で実施される教育活動への積極的な参加
- ・教科横断的な学びを重視した探究活動の推進(高)
- ・卒業後の進路を見据えた継続したガイダンスの実施(高)
- ・日々の取組を重視した成績評価についての共通理解(高)
- ・チュードメントメンターの充実(ピアサポート)(特)
- ・技能検定への取組の充実と改善(特)



# 兵庫県立阪神昆陽高等学校

共に学び

共に伸びる



働きながら学ぶ生徒や全日制課程の中途退学者など、これまでの定時制高等学校に学ぶ生徒に加えて、自分のペースや興味・関心等に合わせてじっくり学びたい生徒等にも対応するため、3部制の多部制単位制高等学校として設置されました。生徒が、仕事や生活の環境などのライフスタイルや学習ニーズに応じて時間帯を選ぶことができ、さらに多様な選択科目の中から自分の興味・関心に応じて必要な科目が選べるなど、意欲的に学習に取り組むことができる環境を整えています。

【学期】 二学期制（前期4月～9月・後期10月～3月）

【募集定員】 280名（1部100名 2部100名 3部80名（令和6年度））

## 阪神昆陽の学びの重点

- ①ノーマライゼーション ②学び直し

自己肯定感

自己効力感

自己有用感

社会に貢献できる人財

校時		1部	2部	3部	
1 限	8:45～ 9:30	■	□		
2 限	9:35～10:20				
3 限	10:30～11:15			■	
4 限	11:20～12:05				
SHR	12:05～12:15				
5 限	13:15～14:00	□			
6 限	14:05～14:50				
7 限	15:00～15:45			□	
8 限	15:50～16:35				
SHR	17:20～17:25				
9 限	17:25～18:10				
10 限	18:15～19:00			■	
11 限	19:10～19:55				
12 限	20:00～20:45				



# 兵庫県立阪神昆陽特別支援学校

共に学び

共に伸びる



知的障害のある生徒が、主体的に生活を営むことができる力を身に付け、社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育てるため、社会の要請に応じた職業教育を主とした就業体験の機会を積極的に設け、キャリア教育に取り組む職業学科の高等部だけの特別支援学校です。

【 学期 】 二学期制（前期4月～9月・後期10月～3月）

【登下校】 自力通学（8:30登校、15:25下校）

【部活動】 15:30～16:30（火・水・木）

【 昼食 】 弁当（給食無し、食堂営業あり）

【 服装 】 標準服、体操服、コース服

【クラス】 8人学級で6クラス（各学年）

高校の生徒と同様に、食堂で昼食を注文して食べることができます。

服装は式典や企業挨拶などは標準服ですが、普段は気候に合った適切な服でも登校できます。

時限	時刻
SHR	8:30～8:40
1限	8:45～ 9:30
2限	9:35～10:20
3限	10:30～11:15
4限	11:20～12:05
昼休み	12:05～13:00
チャレンジタイム	13:00～13:10
5限	13:15～14:00
6限	14:05～14:50
美化タイム	14:55～15:10
SHR	15:15～15:25







## 「流通・サービスコース」

## 「食品加工・農園芸コース」

## 「福祉・介護コース」



データ入力



ダスタークロス



野菜の栽培



耕運機



ベッドメイキング



にっこりマスクプロジェクト



ICT機器の活用



ポリッシャー清掃



パンやクッキー等の製造



介助の学習



車いす学習

ビルメンテナンスや事務作業を中心に学習します。

ダスタークロスやモップやポリッシャー（床を磨く機械）などを上手に操作できるようになるために、実際の現場を想定して、本格的な実習を取り入れています。

野菜や花の栽培管理や、農機具を使って畑を整備したり、近隣の小学生にサツマイモの植え方を教えたりしています。

また、食品加工ではパンやクッキーを製造し、校内や近隣の施設で販売するという実習も行っています。

高齢者の方や体が不自由な方等にどのようなサービスが必要なのか学びます。

学校にある介護用ベッドを利用して、ベッドメイキングの練習をしたり、介助の方法を学ぶあったり、働き始めて必要な施設清掃の技術も学びます。



## 阪神昆陽の学びの重点 ①ノーマライゼーション

### 交流及び共同学習 阪神昆陽で学べる4つのタイプ

#### タイプA

高校生と特別支援の1年生が受講

#### タイプB

特別支援の生徒が高校の授業を受講  
(2・3年生の希望者)



体育



美術



情報処理



数学 I



## 令和6年度 タイプA 交流生徒数

講座名	学期	時間	高校 (人)	特支 (人)
体育①	後期	火1・2	36	16
体育①	後期	火5・6	36	16
体育①	後期	水3・4	37	16
音楽 I	前期	火5・6	12	16
音楽 I	前期	水3・4	15	16
音楽 I	後期	水3・4	16	16
美術 I	前期	水3・4	10	16
美術 I	後期	火3・4	12	16
美術 I	後期	水5・6	12	16
情報 I	前期	火3・4	17	16
情報 I	後期	火3・4	24	16
情報 I	後期	水3・4	20	16





## 令和6年度 タイプB 交流生徒数

講座名	時間	高校 (人)	特支 (人)	講座名	時間	高校 (人)	特支 (人)
言語文化 後期	月水1・2	37	3	地理総合 後期	月水3・4	15	5
歴史総合 後期	月水1・2	20	1	倫理 後期	月水3・4	13	1
政経 後期	月水1・2	10	1	数学I α 後期	月水3・4	16	2
生物基礎 後期	月水1・2	16	1	化学基礎 後期	月水3・4	14	1
体育② 後期	月水1・2	31	4	自然科学探究 後期	月水3・4	14	1
情報処理 後期	月水1・2	10	9	書道II 後期	月水3・4	12	2
言語文化 後期	月水3・4	26	1	対人援助	木5・6	8	1



## 交流及び共同学習

阪神昆陽で学べる4つのタイプ

### タイプC

高校生が特別支援の授業を受講



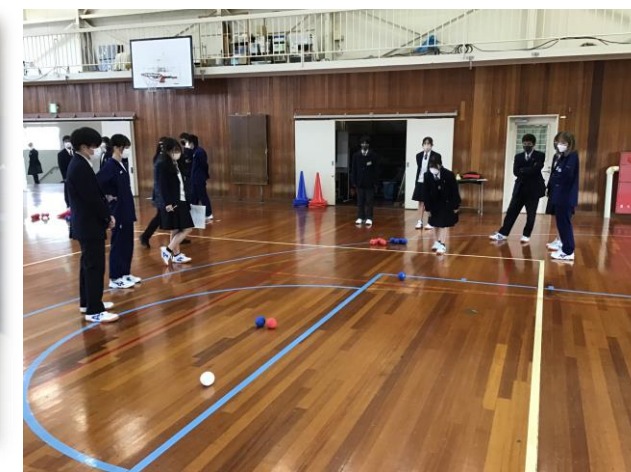
高校の「キャリアプランニング」受講者が特別支援の「ビジネス総合」（3年）の授業に一部参加

### タイプD

両校生徒と近隣の高校の生徒との共同学習



高校の「地域社会への支援」受講者、特別支援の福祉・介護コースの生徒が参加







## 生徒の声（高等学校）

- ・「交流は難しい」と思っていたが、授業を重ねるうち、高校の友達と交流するのと変わらないことに気づき、楽しく関わられたので嬉しかった。
- ・ペアワークが多く面白かったし、高校の授業では出てこないようなアイデアが聞けたりし、充実した授業だった。
- ・特支にはいろいろな生徒がいたから、いろいろな交流が出来て良かった。
- ・障害を持っているからと言って、それだけで判断するのは難しいと思った。

## 生徒の声（特別支援）

- ・最初は緊張して話せなかったけど、グループワークで自分から話しかけられるようになって良かった。
- ・高校の生徒と会話が出来るか少し心配していたけど、自分から話しかけたとき、返事が有りとても嬉しかった。
- ・難しいこともあったけど、楽しいことの方が多かった。
- ・高校の生徒は、面白いし優しかったので、また一緒に授業を受けたい。もっと仲良くしたいと思った。 11



# 学校設定科目「ノーマライゼーション」

◎**新入生全員が受講** → **障害理解**



講師には隣接の特別支援学校教員、地域の障害当事者、支援者の方々をお招きし、最先端の現場の知見を取り入れて授業を進めます。年度末にはまとめとして「ノーマライゼーション発表大会」を全校生の参加で開催し、学びの成果や共生社会に向かう方策を提案します。





## 高等学校における通級指導

- ・平成30年度より通級指導を行っている。
- ・対象・・・本校に通う生徒の内、**通級指導を希望する者**
- ・通級指導を受けるためには・・・

生徒と保護者の  
両方からの希望



希望者の面接  
授業や生活の様子  
の記録



総合的に判断し  
対象者を決定

- ・自立活動を「基礎社会技術」(通称BSS)として授業内で実施
- ・困り感を持つ人への支援を重点的に指導を行う



共に学び

共に伸びる

## 阪神昆陽の学びの重点 ②学び直し

### 学び直し 小・中学校の内容から

数学入門 (抜粋)		英語入門 (抜粋)	
$\frac{1}{2} \div \frac{3}{5} = \frac{5}{6}$		Small 小さい	Long 長い
$2xy \times 3x = 6x^2y$		Driver 運転手	Nurse 看護師



◆生徒の声◆

- ・ 楽しく勉強できた!
- ・ 計算の苦手意識がなくなった!

## 評価方法の改善 (定期考査を廃止) 令和4年度～

- 生徒の授業の取組を重視します
- <例>
- ・ 授業での発表、話し合い、実技
  - ・ 小テストや単元テスト
  - ・ 課題やレポート など



# 生徒の主体的な学びを大切にします





## 令和2年度後期と令和5年度後期との比較（1）

	①私は授業のねらい・目標をよく理解している		②私は成績評価の方法について、よく理解している		③私は授業に遅刻、欠席をしないように努力している		④私は授業の内容を理解することができる		⑤私はスマートフォン等に触らず、集中して授業を受けている	
	令和2年度	令和5年度	令和2年度	令和5年度	令和2年度	令和5年度	令和2年度	令和4年度	令和2年度	令和5年度
④ 強くそう思う	20.6%	<b>48.7%</b>	25.2%	<b>51.0%</b>	19.7%	<b>58.2%</b>	20.6%	<b>46.4%</b>	26.6%	<b>69.7%</b>
③ どちらかと言えば、そう思う	55.2%	45.2%	53.6%	42.6%	46.1%	33.2%	52.7%	45.6%	50.5%	26.8%
② あまりそう思わない	18.9%	4.4%	15.6%	4.5%	24.3%	<b>6.2%</b>	20.1%	6.2%	17.4%	<b>2.2%</b>
① まったくそう思わない	5.3%	1.8%	5.6%	1.9%	9.9%	<b>2.4%</b>	6.7%	1.8%	5.5%	1.3%
回答③④合計（肯定意見）の増加数 ※令和5年度後期（③④の割合の合計） －令和2年度後期（③④の割合の合計）	<b>+18.1%</b>		<b>+14.8%</b>		<b>+25.6%</b>		<b>+18.7%</b>		<b>+19.4%</b>	



## 令和2年度後期と令和5年度後期との比較（2）

	⑥授業の進み方は自分に合っている		⑦課題について考えたり、ノートやプリントを書く時間は十分である		⑧自分の考えや意見を出しやすい授業である		⑨学ぶことが面白い(楽しい)と感じる授業である		⑩課題や宿題の量や難易度は自分に合っている	
	令和2年度	令和5年度	令和2年度	令和5年度	令和2年度	令和5年度	令和2年度	令和5年度	令和2年度	令和5年度
④ 強くそう思う	23.6%	50.8%	26.2%	54.0%	7.0%	44.2%	20.8%	48.0%	22.0%	52.5%
③ どちらかと言えば、そう思う	52.7%	42.8%	41.7%	40.6%	19.9%	44.4%	39.9%	39.9%	50.8%	41.8%
② あまりそう思わない	17.8%	4.7%	18.1%	3.8%	33.0%	8.5%	27.2%	9.1%	19.2%	3.7%
① まったくそう思わない	5.8%	1.7%	14.0%	1.5%	40.1%	2.8%	12.1%	3.1%	8.1%	2.0%
回答③④合計（肯定意見）の増加数 ※令和5年度後期（③④の割合の合計） －令和2年度後期（③④の割合の合計）	+17.3%		+26.7%		+61.7%		+27.2%		+21.5%	



## 阪神昆陽の1年（前期）



4月 前期入学式



7月 生活体験発表



9月 前期卒業式





## 阪神昆陽の1年（後期）



9月 後期入学式



10月 こやっこフェスティバル（体育祭）



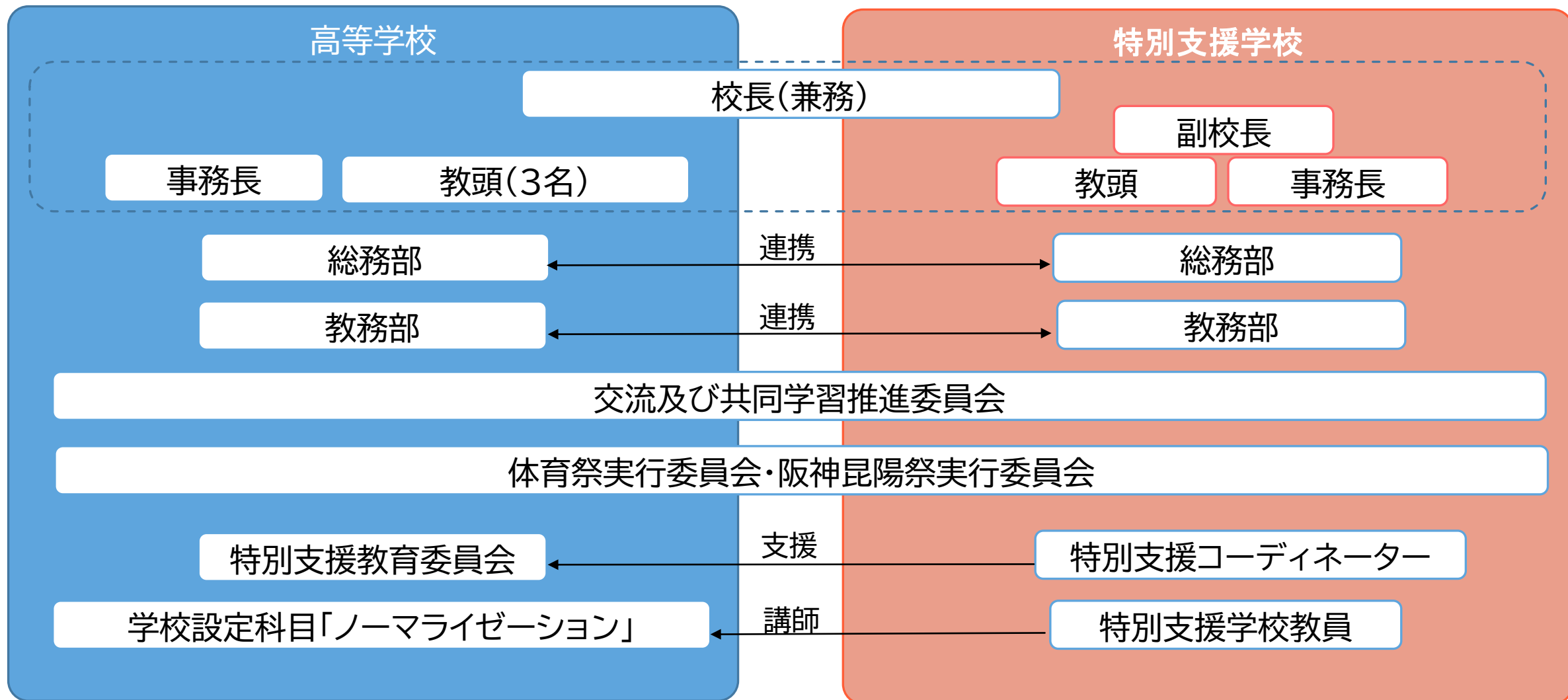
11月 こやっこフェスティバル（阪神昆陽祭）



後期卒業式



## 阪神昆陽の連携体制



# 阪神昆陽は

社会におけるノーマライゼーションの理念を進展するための礎となる学校をめざします



共に学び

共に伸びる